

5.3. 北陸圏における接続型都市圏形成の検討

5.3.1. 接続型都市圏の強み分析

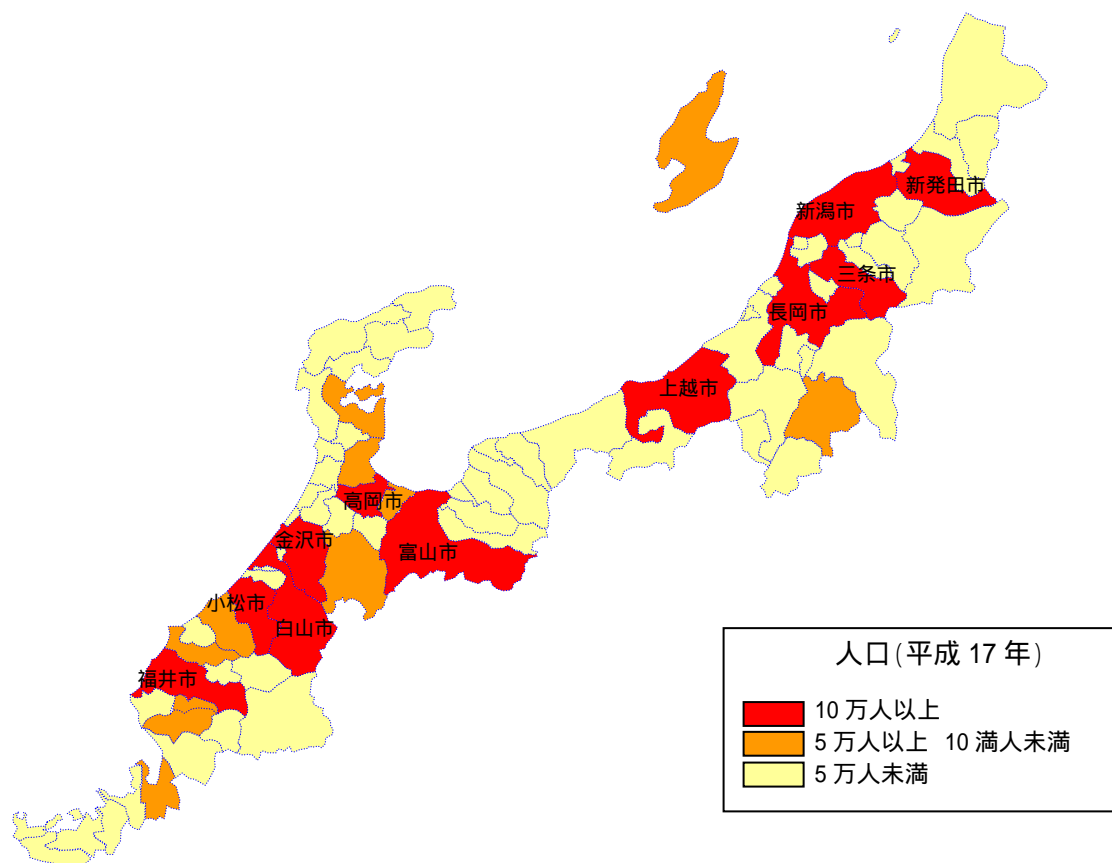
北陸圏における接続都市圏の強みを把握するため、現況の都市構造の分析及びアンケート調査を行った。

(1) 北陸圏の都市構造の状況

1) 人口集積

北陸圏は他圏域に見られるような人口 100 万人を超える市はないものの、人口 10 万人を超える市が多く分布している。

特に、上越 - 新発田間及び富山 - 福井間においては、人口 10 万人以上の都市が隣接または近距離で連なっている。

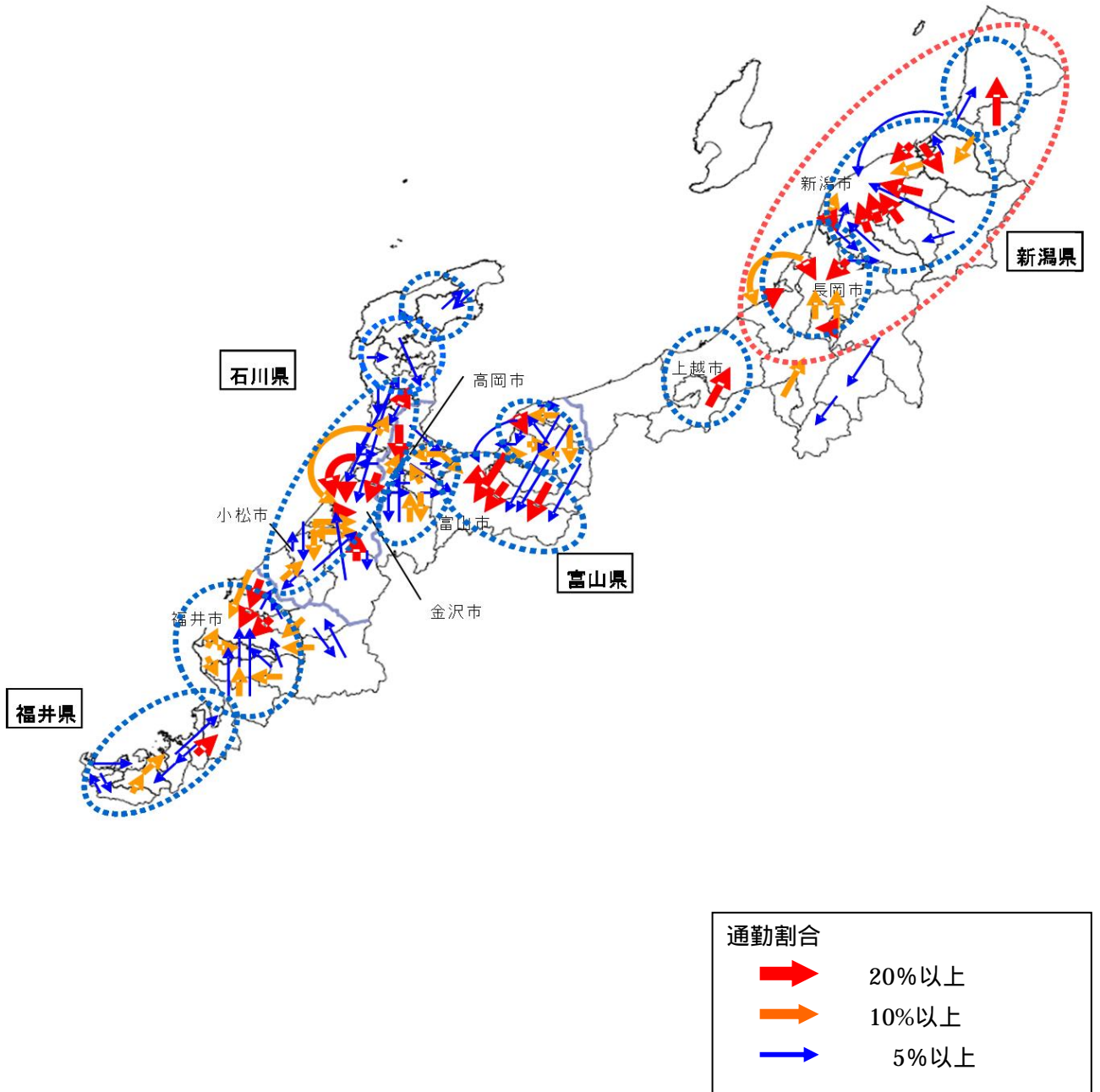


【出典】国勢調査(平成 17 年)

図 5-243 北陸圏の都市別人口分布

2) 通勤圏

主に県庁所在地などの人口集積の高い都市を中心として通勤圏が形成されているが、黒部市、敦賀市等でのブロック単位になっている場合が多い。
一方、県間を超えた流動は少なくなっている。



【出典】国勢調査（平成 17 年）

図 5-244 北陸圏の通勤圏

3) 通勤圏

通学圏も通勤圏と同様、県庁所在市等を中心に形成されているが、若干大きめの範囲となっている。

また、大学の立地も県庁所在市へ集中していること等から、これらへの県を越える流動も一部県境部で発生している。

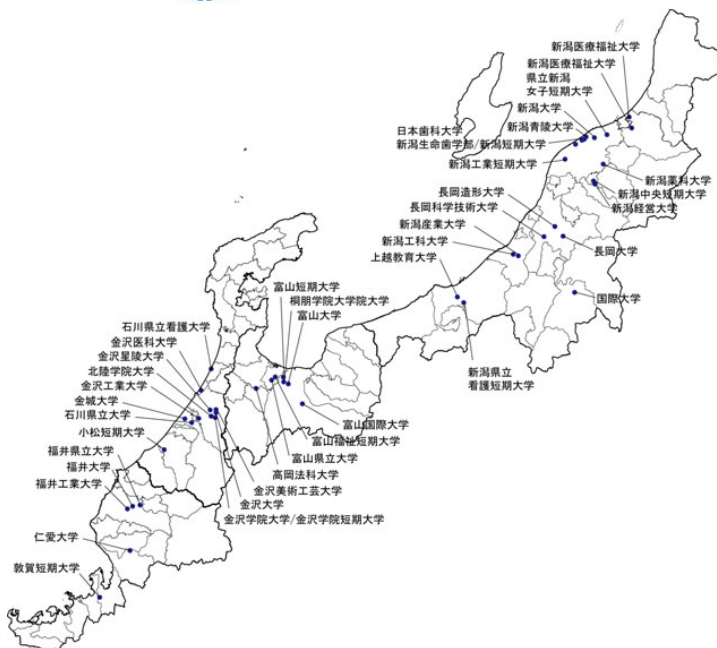
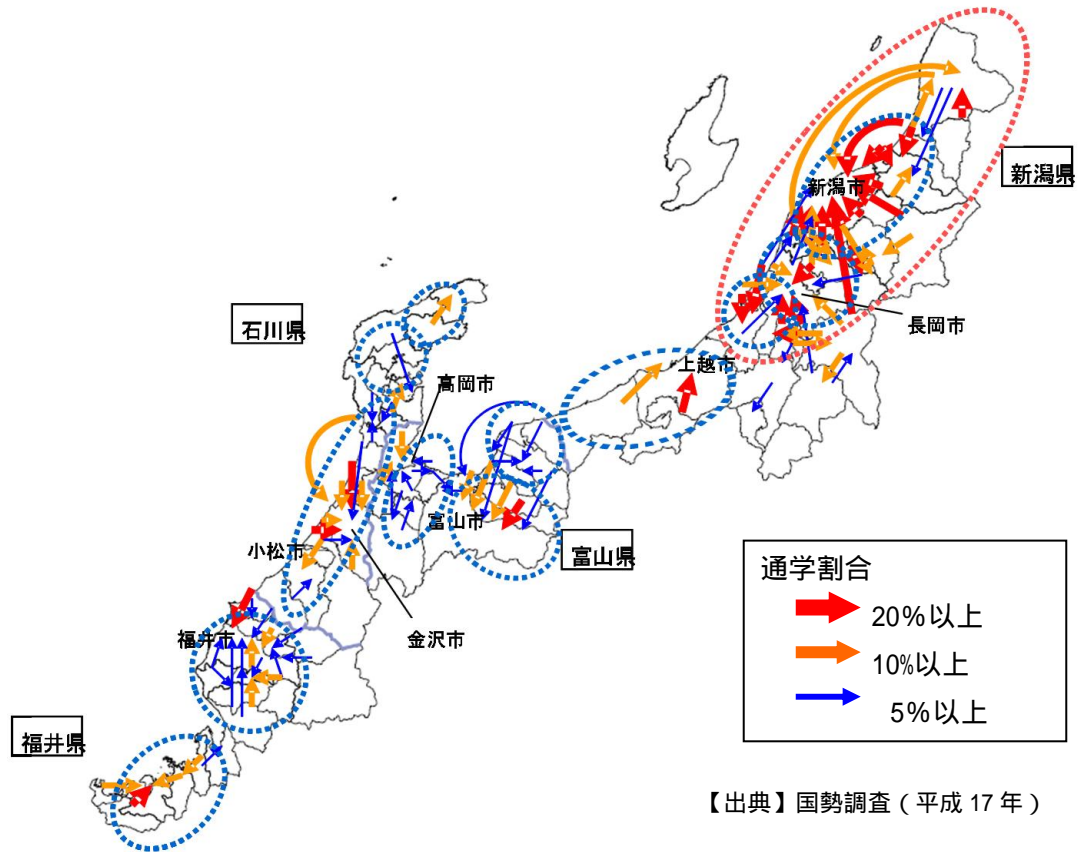


図 5-246 北陸圏の大学立地状況

4) 医療圏

生活中心都市を中心に二次医療圏が設定され、二次救急医療が配置されている。しかしながら周産期医療等は立地に偏りもみられ、魚沼、能登、石川-福井県境等で周産期医療の不足している二次医療圏も見られる。



図 5-247 二次医療圏

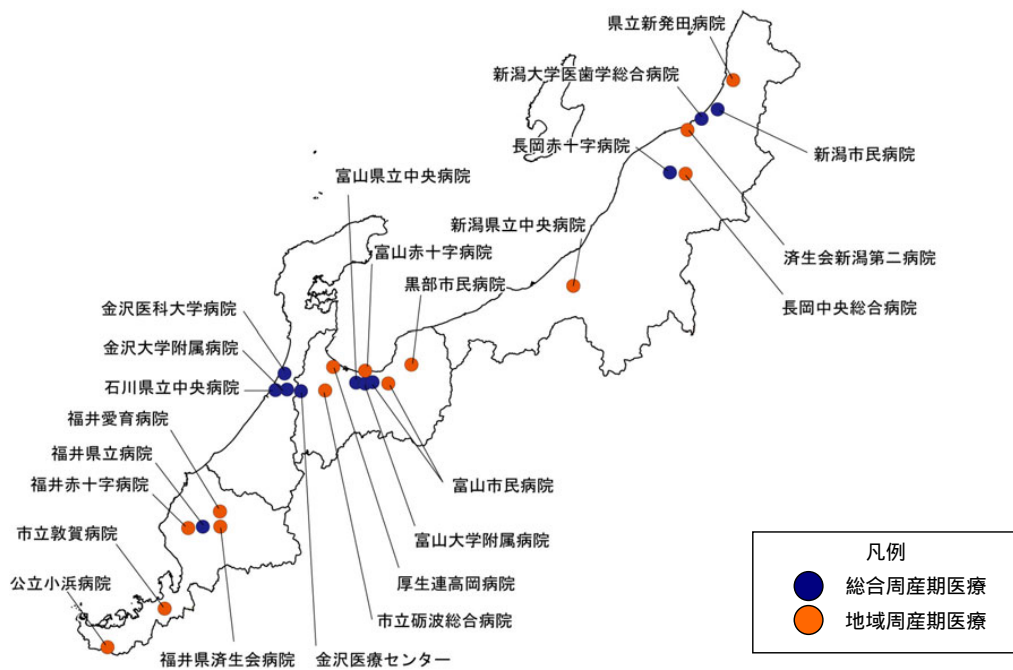
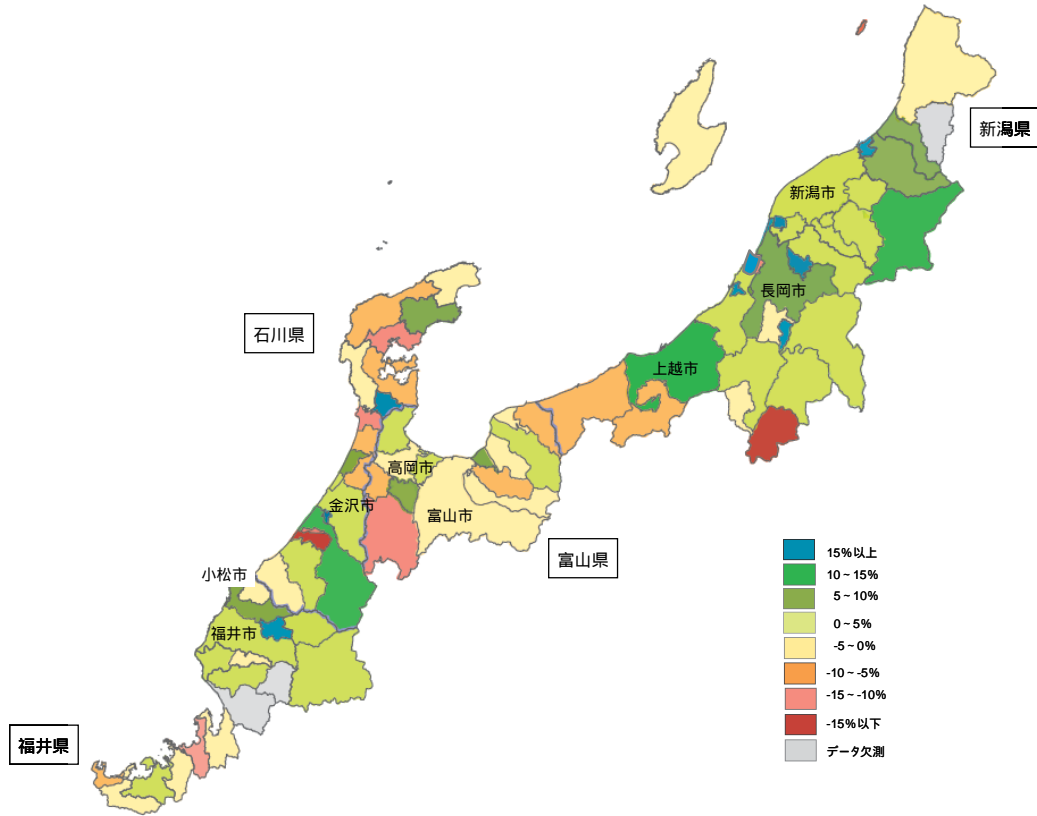


図 5-248 周産期医療医院の分布

5) 商業

百貨店等はおおむね人口 10 万人以上の都市に立地し、これらの都市が買いまわり品の商圏を構成しているものと考えられる。

一方商業販売額の増減では富山市、高岡市、小松市等の生活中心都市でも減少が見られ、むしろ商圏が縮小・分散傾向にある可能性がある。



【出典】商業統計（平成 9 年、平成 19 年）

図 5-249 商業販売額の増減

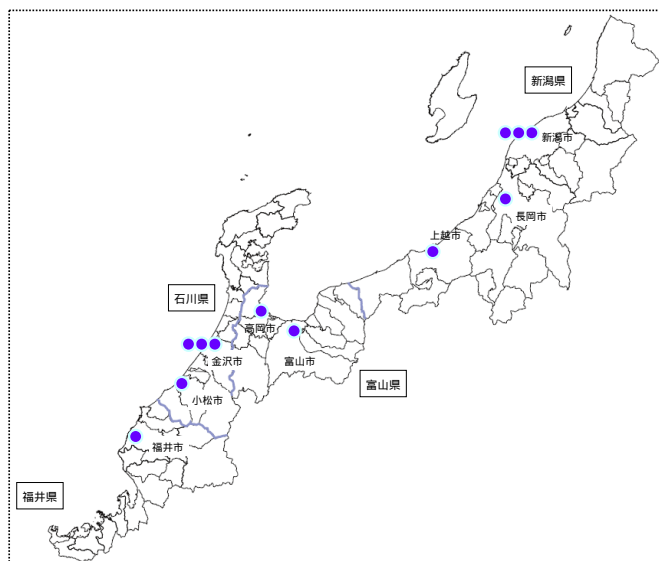
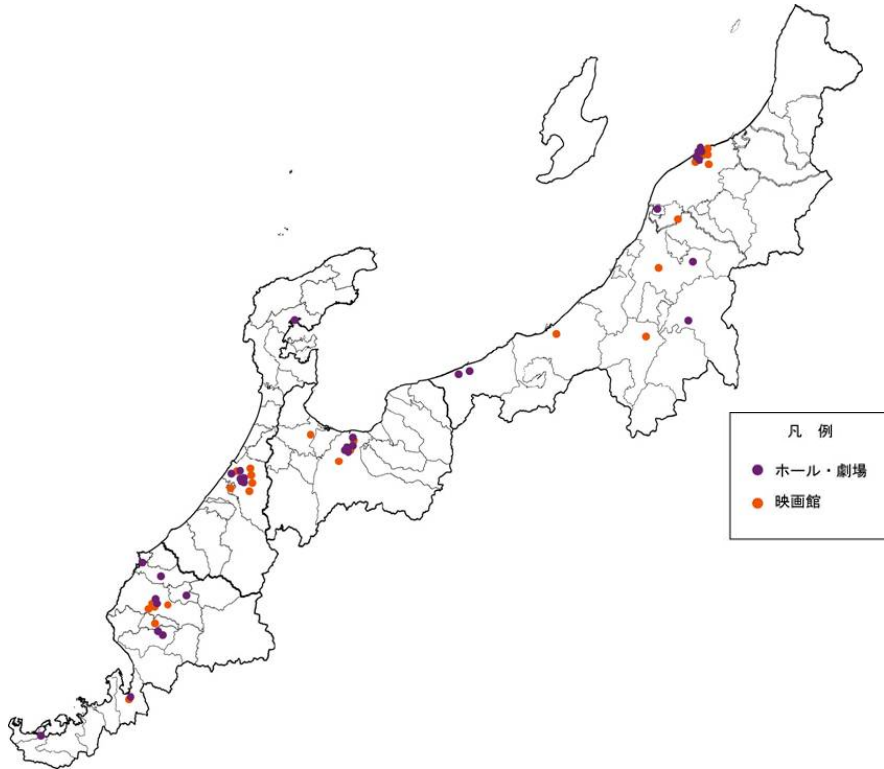


図 5-250 百貨店立地状況

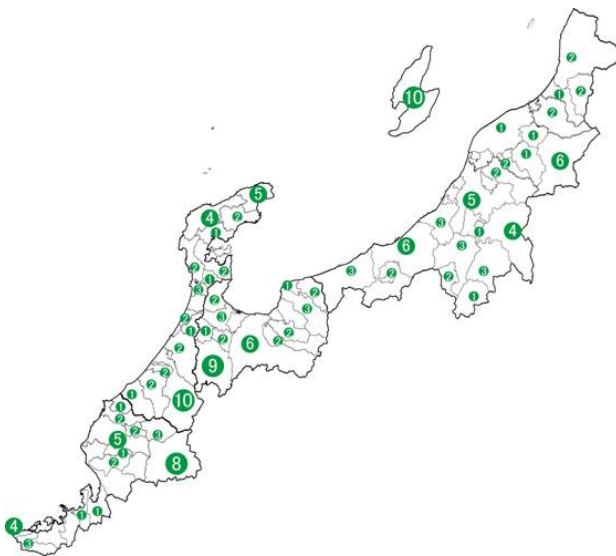
6) レジャー・娯楽

ホール・劇場・映画館等の都市型娯楽については、人口 10 万人以上の都市を中心に分布している。一方、キャンプ場・海水浴場等の屋外活動型のレジャー施設はほぼ全域に分布している。



【出典】ピアMAP 2008

図 5-251 映画館・ホールの分布状況



【出典】Maple 観光ガイド HP

図 5-252 キャンプ場の分布状況



【出典】Maple 海水浴場ガイド HP

図 5-253 海水浴場の分布状況

(2) 北陸の『良さ』に関するアンケート調査

次表ならびに次図に、北陸の『良さ』について実施したアンケートの結果(単純集計)を示す。

「良い」、「やや良い」の回答割合が高い上位5項目は以下のとおりである。

- | | |
|--|-------|
| 1. 「海、山が近く、豊かな自然に囲まれていること」 | 95.3% |
| 2. 「食文化が豊かで、美味しいこと」 | 91.9% |
| 3. 「誇れる伝統、文化、歴史があること」 | 70.8% |
| 4. 「農山漁村が近く、子どもの教育や豊かな生活を送るうえで、さまざまな体験の場があること」 | 67.7% |
| 5. 「ゆとりある住宅環境を手に入れやすいこと」 | 67.6% |

「良くない」、「やや良くない」の回答割合が高い上位5項目は以下のとおりである。

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. 「公共交通(鉄道、バス)が発達し、移動利便性が高いこと」 | 65.5% |
| 2. 「優れた大学など、就学環境が良いこと」 | 39.7% |
| 3. 「男女を問わず、就労機会が多いこと」 | 32.8% |
| 4. 「多様な産業が集積していること」 | 27.3% |
| 5. 「比較的近くに救急医療機関があること」 | 20.5% |

表 5-26 北陸の『良さ』

Q7	あなたは、北陸の『良さ』についてどのよう にお考えですか？各項目について、あなた のお考えに近いものをお選びください。 <small>単一回答</small>	全体	1	2	3	4	5
			良い	やや良い	どちらでも ない	あまり良く ない	良くない
1	海、山が近く、豊かな自然に囲まれていること	3288 100.0	2181 66.3	953 29.0	130 4.0	16 0.5	8 0.2
2	誇れる伝統、文化、歴史があること	3288 100.0	1026 31.2	1301 39.6	812 24.7	128 3.9	21 0.6
3	食文化が豊かで、美味しいこと	3288 100.0	2052 62.4	969 29.5	213 6.5	42 1.3	12 0.4
4	風光明媚なところが多く、日本を代表する美 しさを有していること	3288 100.0	885 26.9	1336 40.6	888 27.0	154 4.7	25 0.8
5	新潟市、富山市、金沢市、福井市など、特 徴を持った都市が近接し、ちょっと足を伸 べた農山漁村が近く、子どもの教育や豊かな生活 を送る上で、様々な体験の場があること	3288 100.0	684 20.8	1288 39.2	877 26.7	345 10.5	94 2.9
6	農山漁村が近く、子供の教育や豊かな生活 を送る上で、様々な体験の場があること	3288 100.0	754 22.9	1473 44.8	901 27.4	125 3.8	35 1.1
7	多様な産業が集積していること	3288 100.0	230 7.0	724 22.0	1435 43.6	641 19.5	258 7.8
8	男女を問わず就労機会が多いこと	3288 100.0	263 8.0	694 21.1	1254 38.1	746 22.7	331 10.1
9	自然災害や犯罪に対し、安全で安心して暮ら せること	3288 100.0	579 17.6	1467 44.6	919 28.0	277 8.4	46 1.4
10	公共交通(鉄道、バス)が発達し、移動利便 性が高いこと	3288 100.0	113 3.4	372 11.3	649 19.7	1223 37.2	931 28.3
11	道路網が発達し、車での移動がしやすいこ と	3288 100.0	493 15.0	1412 42.9	854 26.0	383 11.6	146 4.4
12	優れた大学など、就学環境が良いこと	3288 100.0	125 3.8	589 17.9	1269 38.6	854 26.0	451 13.7
13	比較的近くに救急医療機関があること	3288 100.0	403 12.3	1221 37.1	991 30.1	460 14.0	213 6.5
14	ゆとりある住宅環境を手に入れやすいこと	3288 100.0	623 18.9	1601 48.7	821 25.0	186 5.7	57 1.7
15	人が優しく、全般的に仲が良いこと	3288 100.0	503 15.3	1471 44.7	1007 30.6	207 6.3	100 3.0

[Q7]あなたは、北陸の『良さ』についてどのようにお考えですか？各項目について、あなたのお考えに近いものをお選びください。

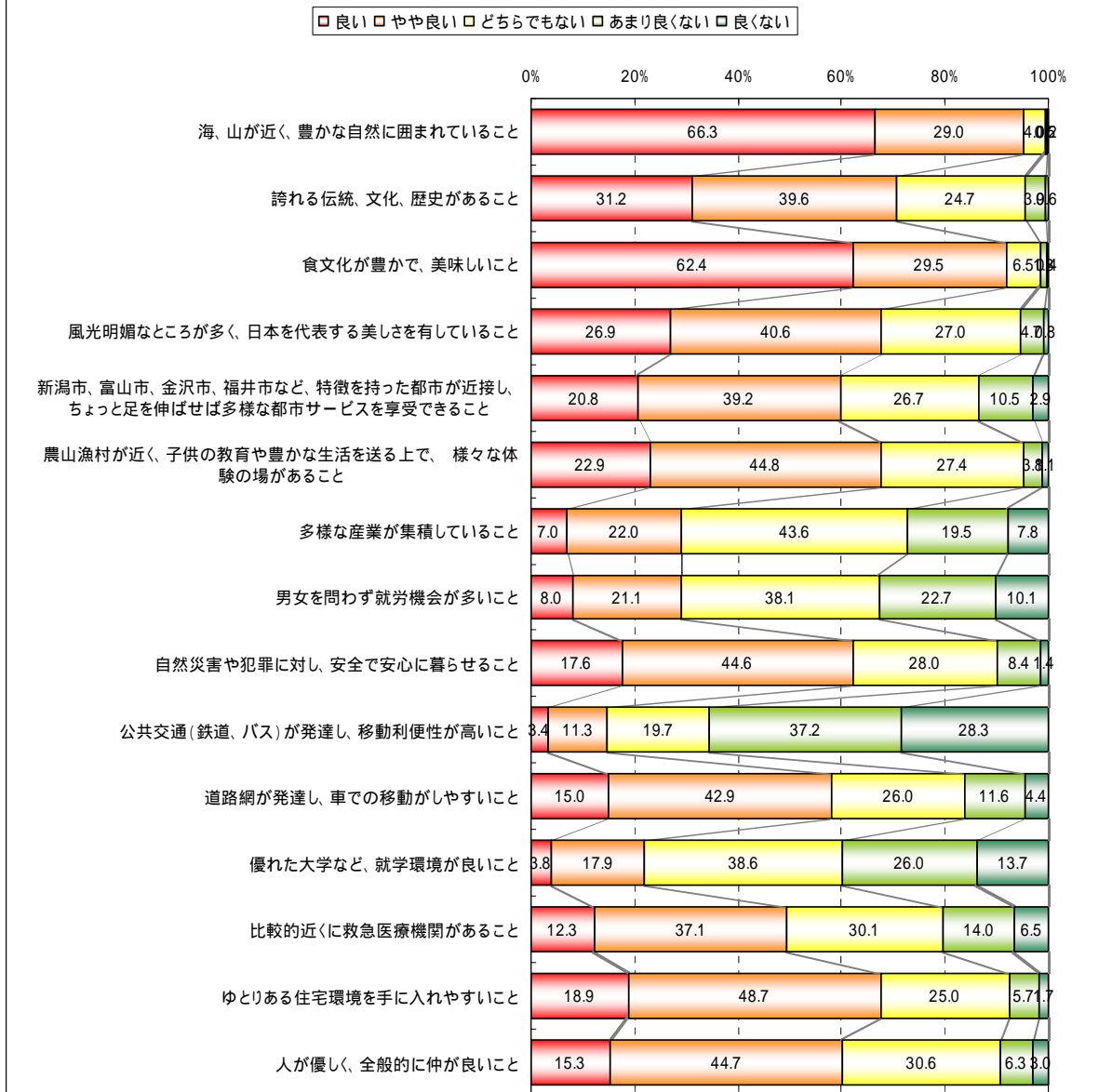


図 5-254 北陸の『良さ』

「北陸の『良さ』を高める上で重要だと思うこと」について、回答割合が高い上位5項目は以下のとおりである。

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. 「食文化が豊かで、美味しいこと」 | 54.7% |
| 2. 「海、山が近く、豊かな自然に囲まれていること」 | 54.4% |
| 3. 「自然災害や犯罪に対し、安全で安心して暮らせること」 | 27.6% |
| 4. 「ゆとりある住宅環境を手に入れやすいこと」 | 25.2% |
| 5. 「公共交通(鉄道、バス)が発達し、移動利便性が高いこと」 | 18.7% |

これらの項目のうち、5の公共交通について、前述のアンケート結果では不満度が最も高く、公共交通機関の利便性向上への取組が早急に求められていることがわかる。

また、満足度の高い1、2、4の項目については、さらに対策を進めることで満足度がさらに高まり、北陸圏の魅力向上に繋がること明らかになった。

表 5-27 北陸の『良さ』を高める上で重要だと思うこと

	前問でご覧頂いた項目の中で、北陸の「良さ」を高める上で重要だと思うことは何ですか？あてはまるものを3つお選びください。 複数回答	回答数	%
1	海、山が近く、豊かな自然に囲まれていること	1790	54.4
2	誇れる伝統、文化、歴史があること	577	17.5
3	食文化が豊かで、美味しいこと	1800	54.7
4	風光明媚なところが多く、日本を代表する美しさを有していること	270	8.2
5	新潟市、富山市、金沢市、福井市など、特徴を持った都市が近接し、ちょっと足を伸ばせば多様な都市サービスを楽しむことができること	492	15.0
6	農山漁村が近く、子供の教育や豊かな生活を送る上で、様々な体験の場があること	392	11.9
7	多様な産業が集積していること	266	8.1
8	男女を問わず就労機会が多いこと	378	11.5
9	自然災害や犯罪に対し、安全で安心して暮らせること	907	27.6
10	公共交通(鉄道、バス)が発達し、移動利便性が高いこと	616	18.7
11	道路網が発達し、車での移動がしやすいこと	389	11.8
12	優れた大学など、就学環境が良いこと	246	7.5
13	比較的近くに救急医療機関があること	517	15.7
14	ゆとりある住宅環境を手に入れやすいこと	830	25.2
15	人が優しく、全般的に仲が良いこと	394	12.0
	全体	3288	100.0

[Q8]前問でご覧頂いた項目の中で、北陸の『良さ』を高める上で重要だと思うことは何ですか？あてはまるものを3つお選びください。
(n=3288)

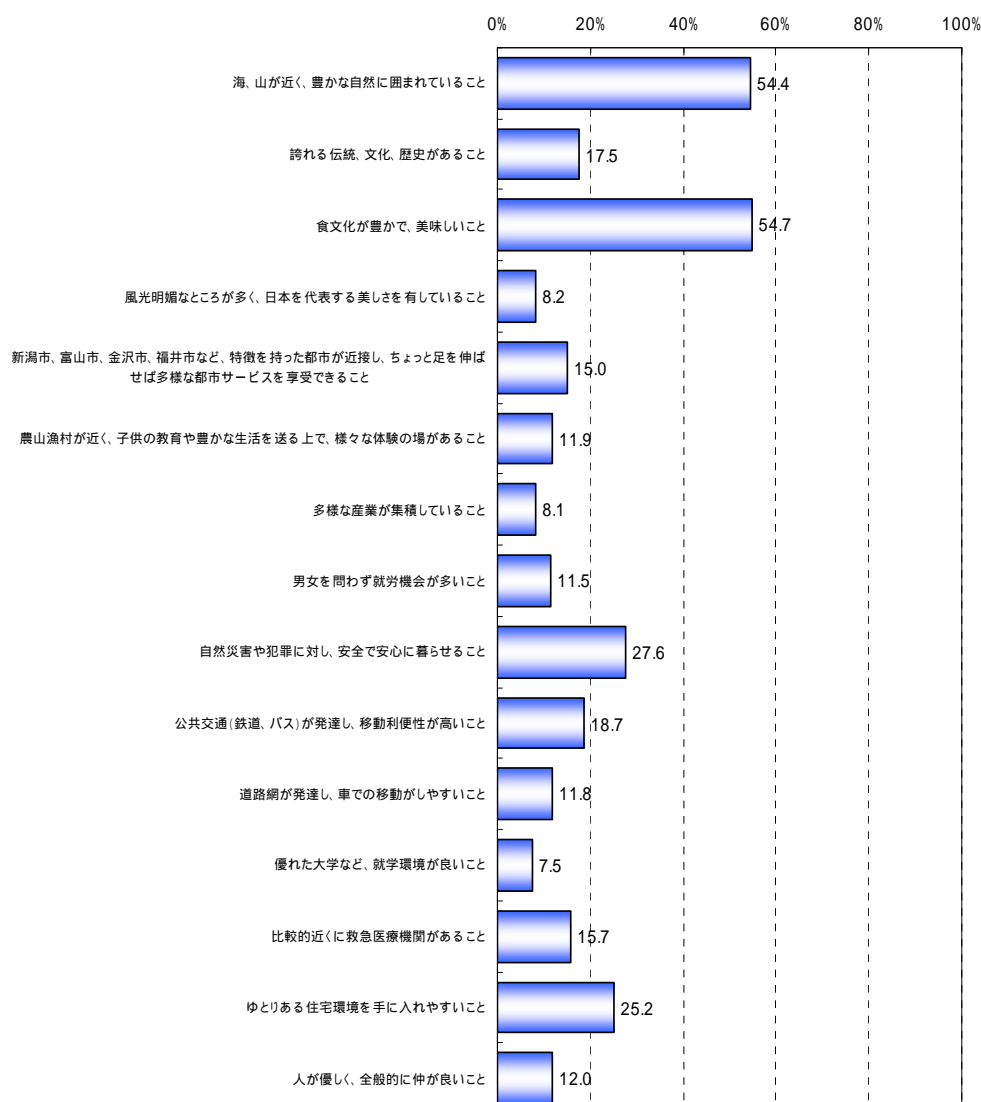


図 5-255 北陸の『良さ』を高める上で重要だと思うこと

次頁に、各項目の評価を標準化した結果(標準化指数)を示す。

標準化指数から重要度が高く、かつ重要度に当てて「良さ」が相対的に低い項目が、北陸の『良さ』向上に向けた重点ポイントといえる。

- ・公共交通(鉄道、バス)が発達し、移動利便性が高いこと(+2.0)
- ・食文化が豊かで、美味しいこと(+0.8)
- ・海、山が近く、豊かな自然に囲まれていること(+0.6)

標準化指数: 良い2点、やや良い1点、どちらでもない0点、あまり良くない-1点、良くない-2点で加重平均

全体結果
N=3,288

		住民評価	重点項目
1	海、山が近く、豊かな自然に囲まれていること	1.7	2.3
2	誇れる伝統、文化、歴史があること	0.6	-0.2
3	食文化が豊かで、美味しいこと	1.5	2.3
4	風光明媚なところが多く、日本を代表する美しさを有していること	0.5	-0.8
5	新潟市、富山市、金沢市、福井市など、特徴を持った都市が近接し、ちょっと足を伸ばせば多様な都市サービスを楽しむことができること	0.1	-0.3
6	農山漁村が近く、子供の教育や豊かな生活を送る上で、様々な体験の場があること	0.5	-0.5
7	多様な産業が集積していること	-0.9	-0.8
8	男女を問わず就労機会が多いこと	-1	-0.6
9	自然災害や犯罪に対し、安全で安心して暮らせること	0.2	0.5
10	公共交通(鉄道、バス)が発達し、移動利便性が高いこと	-2.1	-0.1
11	道路網が発達し、車での移動がしやすいこと	-0.1	-0.5
12	優れた大学など、就学環境が良いこと	-1.3	-0.8
13	比較的近くに救急医療機関があること	-0.3	-0.3
14	ゆとりある住宅環境を手に入れやすいこと	0.3	0.3
15	人が優しく、全般的に仲が良いこと	0.1	-0.5

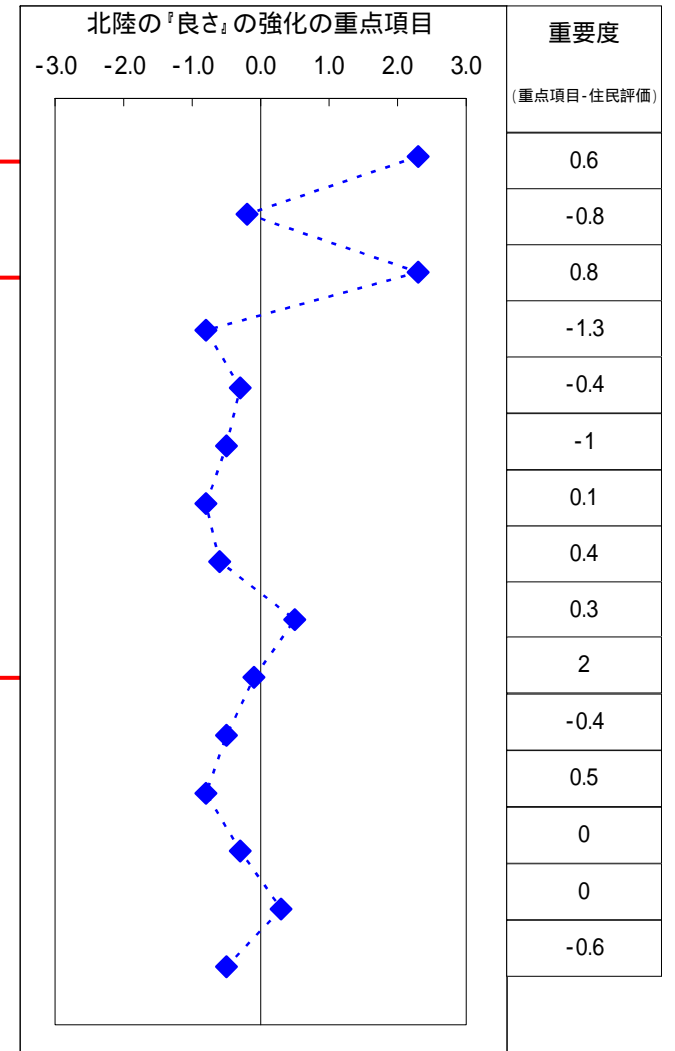
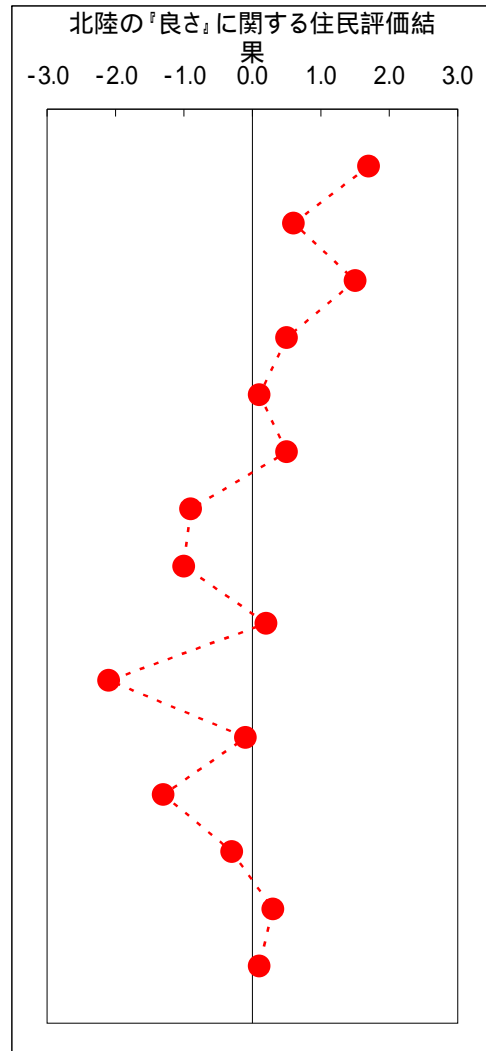


図 5-256 北陸の『良さ』と重要度

(3) 北陸圏の強み等の把握

北陸圏の『良さ』としてアンケート調査では、「海、山が近く、豊かな自然に囲まれていること」「食文化が豊かで、美味しいこと」「誇れる伝統、文化、歴史があること」等が上位に上り、また、ほぼ同様の項目が今後、『良さ』を高めていく上で、重要とされている。

また、都市圏の構造では、北陸圏の特性として、比較的狭い範囲に10万人以上の都市が連なりつつ、これらの都市を中心とした通勤・通学圏をはじめとした娯楽や医療等も含めた生活圏が構成されていることがあげられる。これらの生活圏は一部重複や拡大の傾向にあるものの、基本的にはそれぞれでひとつのまとまりを有しており、このまとまりから生活圏ごとの文化の形成がなされ、それが住民の地域アイデンティティや愛着心の形成や全体としての多様な文化特性につながっている。

このような生活圏の一体性の高さや生活圏相互の競合が、それぞれの地域での産業・文化の形成、ひいては北陸圏の全体の成長力の源泉にもなっていると考えられ一体性を支える基盤としての交通の役割が重要である。また、高次の都市機能については、生活圏の規模に依存する場合も大きく、生活圏の重層化・広域化及びこれらを支える交通機能の充実が求められる。

これらの背景から、アンケートにおいて評価の低かった項目として「公共交通(鉄道、バス)が発達し、移動利便性が高いこと」や「優れた大学など、就学環境が良いこと」「男女を問わず、就労機会が多いこと」「多様な産業が集積していること」「比較的近くに救急医療機関があること」等の高次都市機能があげられているものと考えられる。

5.3.2. 新幹線開通のもたらす効果の分析

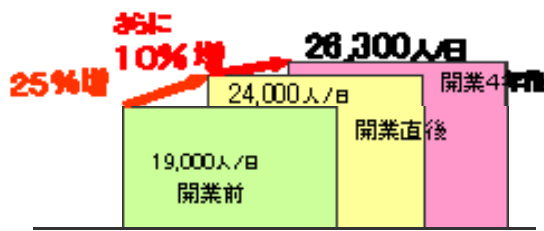
新幹線の開通が都市圏に及ぼす影響を把握するために、地方都市圏での新幹線の開業効果を調査するとともに、新幹線のある都市圏として、静岡県及び山口県の都市圏の状況を把握した。(未整備区域として北部九州を含む。)

(1) 新幹線開通による効果等の整理

1) 新幹線の整備に伴うプラスの効果

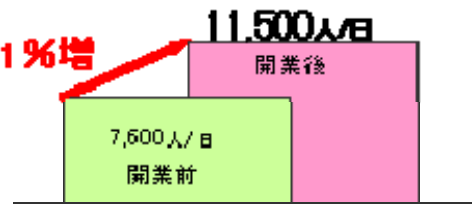
時間短縮による利用者数の増加

整備新幹線の開通に伴う効果として利用客数の増加状況について把握した。高崎～長野間での鉄道利用者数の推移では、開業直後に25%の増加が見られ、その後も10%程度の増加となっている。東北新幹線(盛岡～八戸間)においては、開業直後に51%の増加となっており、九州新幹線(新八代～鹿児島中央間)では、開業直後に100%の大幅な増加となっている。このように、新幹線の整備では、時間の短縮効果に期待して開業前に比べ利用者数は増加している。



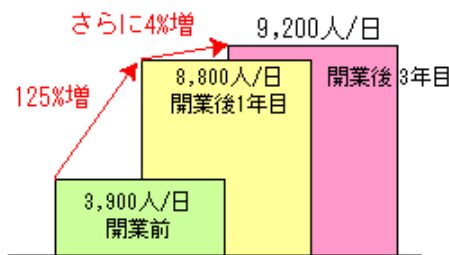
【出典】佐賀県HP

図5-257 長野新幹線(高崎～長野間)の鉄道利用者数の推移



【出典】佐賀県HP

図5-258 東北新幹線(盛岡～八戸間)の鉄道利用者数の推移



【出典】佐賀県HP

図5-259 九州新幹線(新八代～鹿児島中央間)の鉄道利用者数の推移

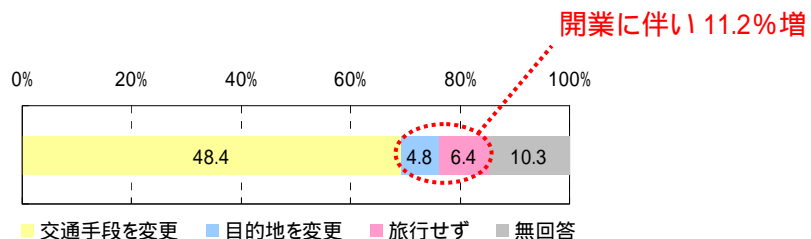
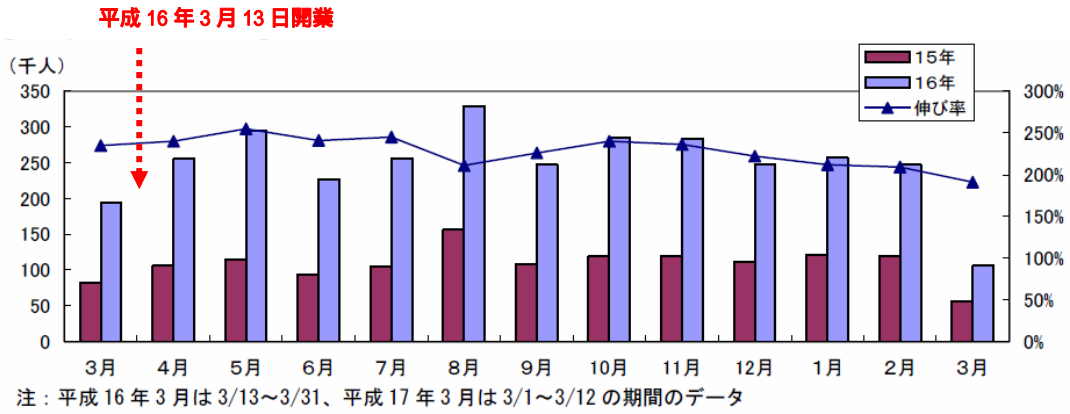


図5-260 東北新幹線(盛岡～八戸間)における新たな来訪者の増加

注)「はやて」利用者アンケートの「新幹線が開業していなかった場合に旅行を実施していたか」との設問に対する回答。「交通手段を変更」とは、「新幹線が開業していなかった場合に「他の交通手段(航空、在来線、高速バス等)を使って旅行を実施」と回答した利用者の合計。

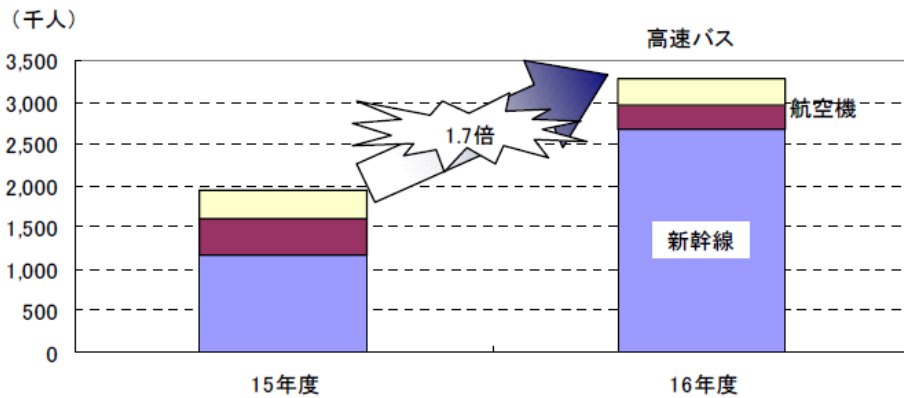
【出典】佐賀県HP



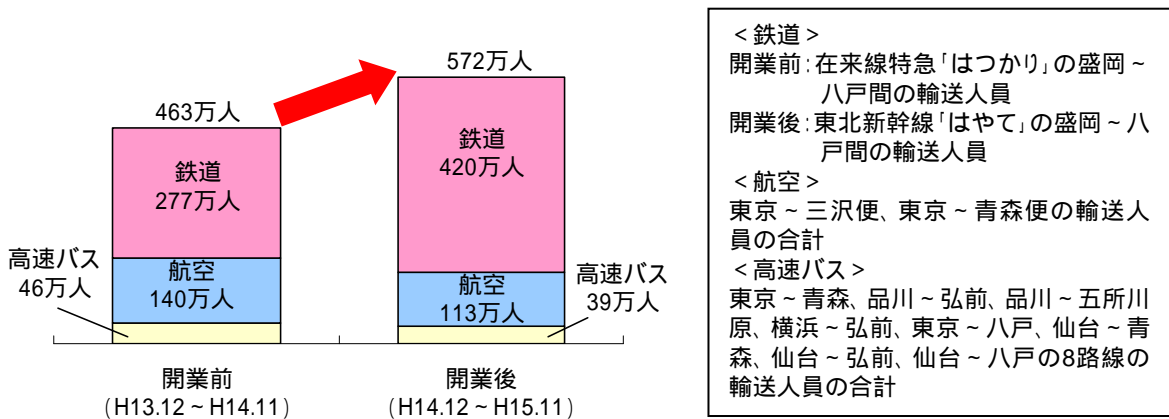
【出典】鹿児島県交通政策課「九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道開業影響調査報告書」（平成17年3月）
 図5-261 九州新幹線（新八代～鹿児島中央間）の鉄道利用者数の推移

新幹線開業に伴って、新たな利用客数が増加

九州新幹線開業後、経年的に利用客数が大幅に増加しており、新たな利用客を誘引していることがうかがえる。また、東北新幹線においても、開業後の交通機関別利用者数が大幅に伸びており、新幹線整備による効果として新たな訪問客の牽引が期待できる。



【出典】鹿児島県交通政策課「九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道開業影響調査報告書」（平成17年3月）
 図5-262 鹿児島～福岡間の主要交通機関別利用者数



【出典】佐賀県HP

図 5-263 盛岡への来訪者の増加

地域開発へのインパクトが拡大

新幹線の開業に伴い、新幹線新駅周辺での土地区画整理事業による宅地の供給と基盤の整備が進められることから、新規定住人口の増加や新たな民間投資の増加が見られる。など、地域にあたる影響も大きい。

長野新幹線佐久平駅では、新幹線開業に合わせて土地区画整理事業が実施されており、民間の新規立地を誘導するなど効果的な開発が行われている。同様に、九州新幹線鹿児島中央駅においても民間による開発が活発化している。

さらに東北では、新幹線開業後の年間観光消費額が2.4倍に増加するなど、観光分野における収益の向上が顕著となっている。

このように新幹線開通を契機とした都市開発等による民間企業の新規立地やそれに伴う商業販売額の増加など、新幹線の整備効果として地域経済の活性化がみてとれる。

【長野新幹線（佐久平駅）】

- ・新幹線開業に合わせた土地区画整理事業の実施により民間の新規立地が約60件



開発後の佐久平駅

【出典】北陸新幹線の経済効果、平成21年2月、高岡商工会議所青年部

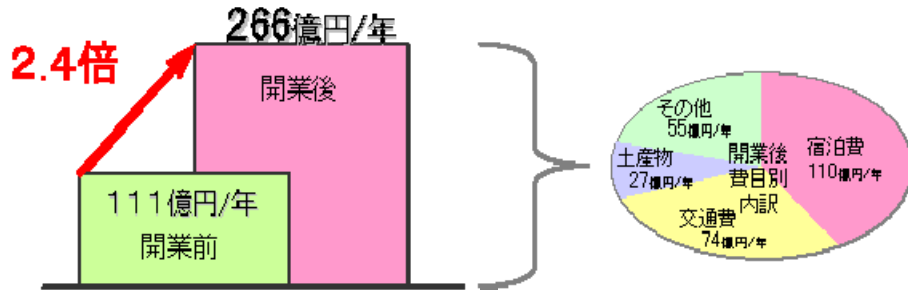
図 5-264 佐久平駅周辺の土地区画整理



商業施設 アミュプラザ鹿児島(出典店舗数約200店)
(ターミナルビル 9/17グランドオープン) 宿泊施設 3ホテル新規開業
(鹿児島市内客室数:4,500室 5,100室超へ)

【出典】鹿児島市HP

図 5-265 鹿児島市内に見られる民間投資



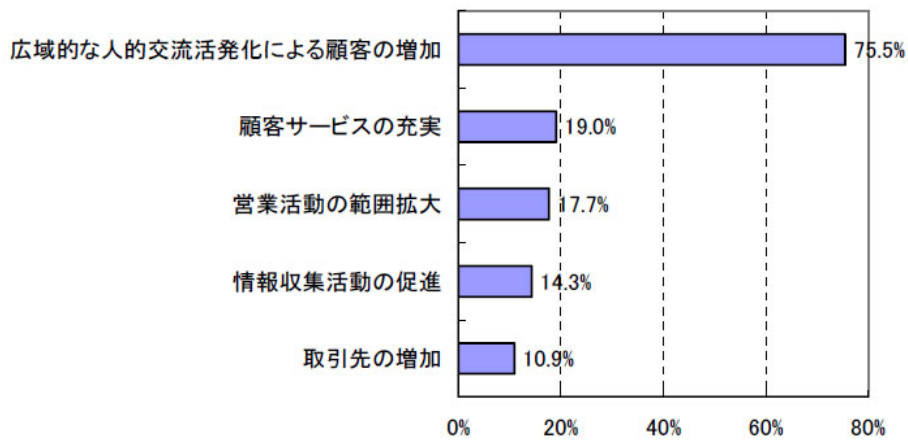
注) はつかり、はやて(盛岡～八戸間)の1日あたりの乗客数と、1人1旅行あたりの観光消費額とを用いて、年間観光消費額を推計。

【出典】佐賀県HP

図 5-266 東北新幹線開業にみる観光消費額の増加

時間短縮による営業、生活面での影響拡大（営業範囲の拡大、通勤圏の拡大）

新幹線整備に伴う時間短縮の効果は、企業の営業活動にも影響しており、九州新幹線開業後に実施された企業アンケート調査では、「出張コストの削減」、「広域的な人的交流活発化による顧客増加」、「営業範囲の拡大」などがあげられている。



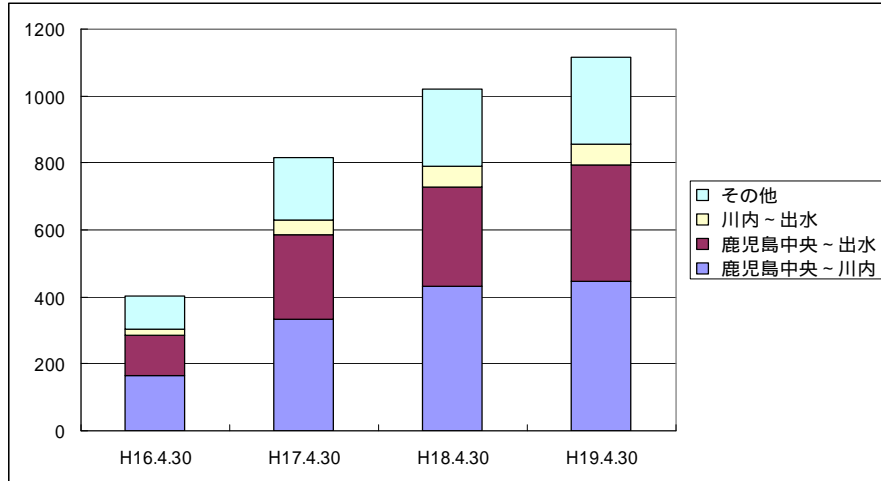
複数回答 N = 147

【出典】鹿児島県交通政策「九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道開業影響調査報告書」(平成17年3月)

図 5-267 プラス影響ありと回答した事業所・商店の要因 (上位5項目)

通勤・通学圏域の拡大による生活圏の再編

九州新幹線では、新幹線の通勤・通学定期（エクセルパス）の利用者数が鹿児島中央～薩摩川内～出水間で大きく増加している。



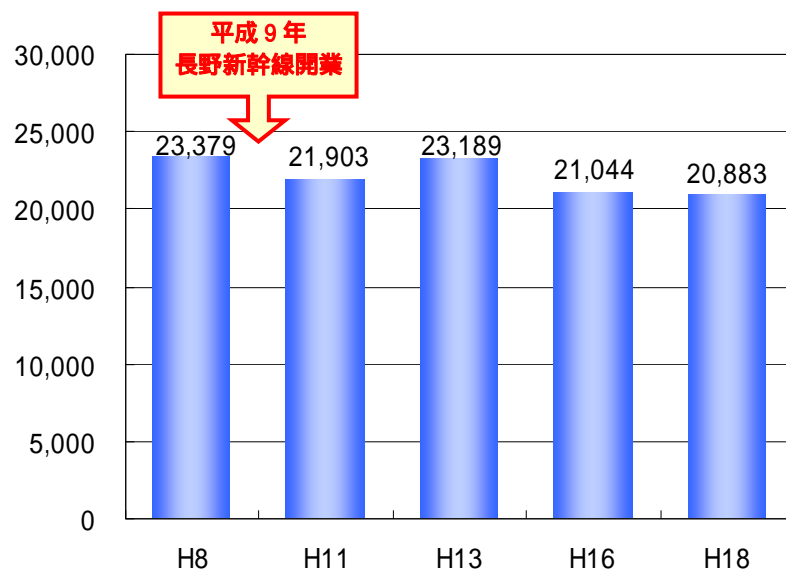
【出典】鹿児島県HP

図 5-268 新幹線開通後の定期利用者の推移

2) 新幹線の整備に伴うマイナスの影響

時間短縮で日帰り圏へ(新幹線と在来線との連絡性の向上による日帰りでの滞在時間の拡大)

長野市では、平成 8 年から平成 18 年の間に事業所数が 10.6%減少しており、新幹線開通に伴う時間短縮の結果、長野市内に置かれていた支店事務所が削減されたことがうかがえる。

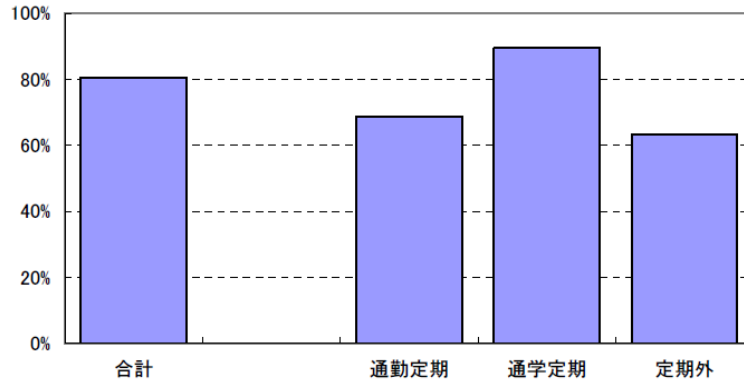


【出典】事業所・企業統計調査（平成16年）

図 5-269 事業所数（長野市）

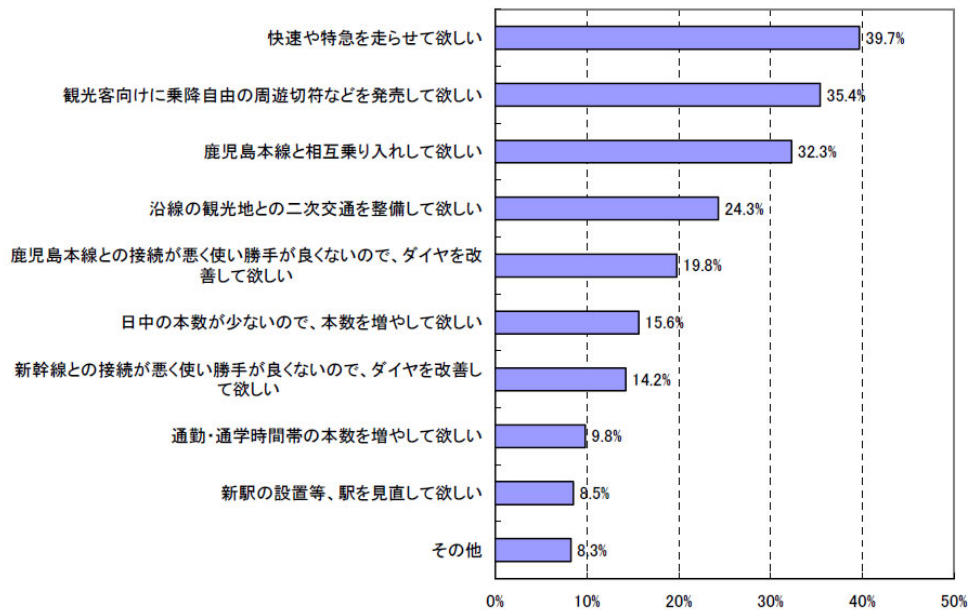
並行在来線の利用者数の減少

九州新幹線の平行在来線である肥薩おれんじ鉄道では、新幹線開通後の利用者数が計画を大幅に下回っており、新幹線との競合による並行在来線利用者の減少は顕著である。



【出典】鹿児島県交通政策課「九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道開業影響調査報告書」(平成17年3月)

図 5-270 肥薩おれんじ鉄道輸送実績対計画値割合



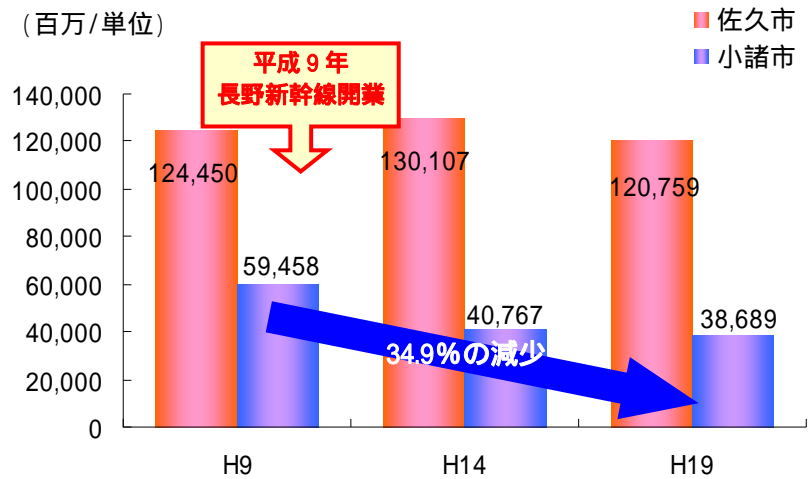
複数回答：N = 703

【出典】鹿児島県交通政策課「九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道開業影響調査報告書」(平成17年3月)

図 5-271 肥薩おれんじ鉄道に対する要望

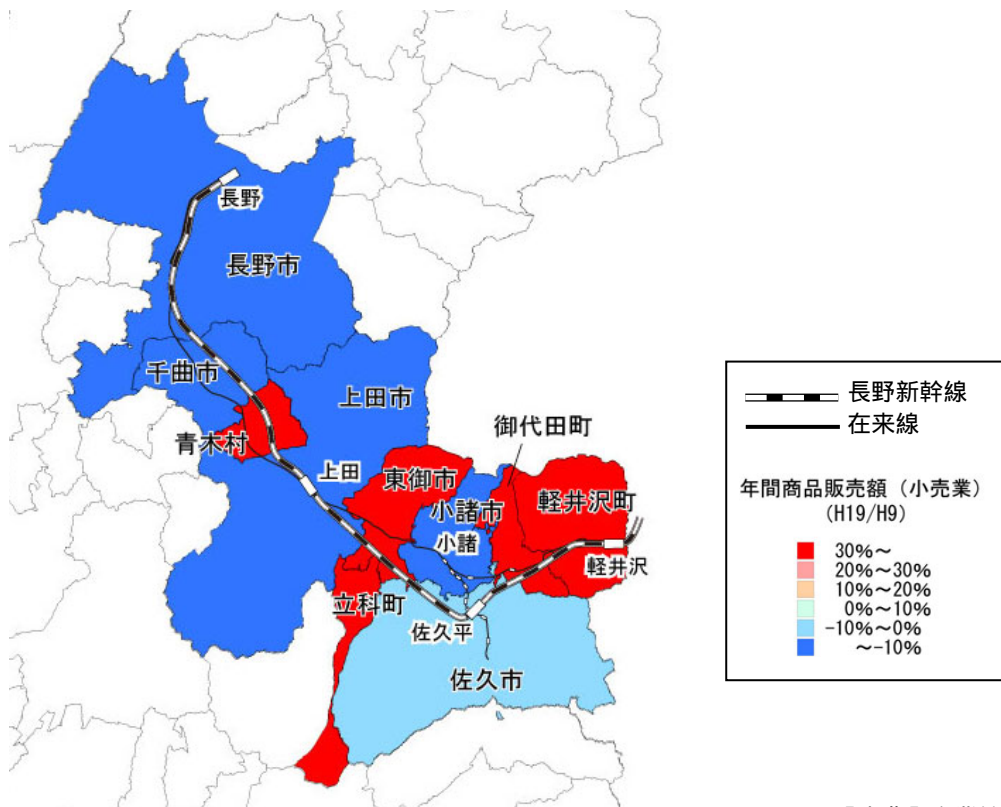
新幹線停車駅と非停車駅における商業機能の格差拡大

長野新幹線開通により、在来線特急停車駅を有していた小諸市の商業販売額は平成9年で約600億円であったところが平成19年には約400億円と30%以上も減少している。一方、新幹線開通に伴い新駅周辺での基盤整備を行った佐久平駅を有する佐久市では、約12,000億円前後を維持している。小諸市民の買い物動向を見ても、地元での買い物客が32%減少し、減少分とほぼ同数の市民が佐久へ買い物に出かけるようになってきていることから、小諸市の商業機能の低下がうかがえる。



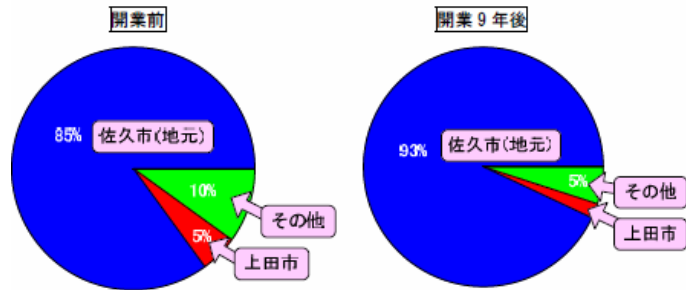
【出典】商業統計

図 5-272 佐久市と小諸市の商業販売額の推移



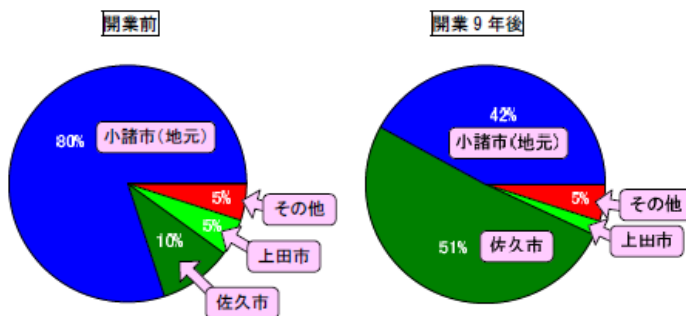
【出典】商業統計

図 5-273 長野新幹線沿線都市における年間商品販売額（小売業）の変化



【出典】北陸新幹線の経済効果、平成21年2月、高岡商工会議所青年部

図 5-274 佐久市民の買い物動向



【出典】北陸新幹線の経済効果、平成21年2月、高岡商工会議所青年部

図 5-275 小諸市民の買い物動向

また、九州新幹線でも、九州新幹線開通で新幹線停車駅となった出水市と阿久根市の商業販売額が増加しており、新幹線の利用による商業拡大傾向が見られる。

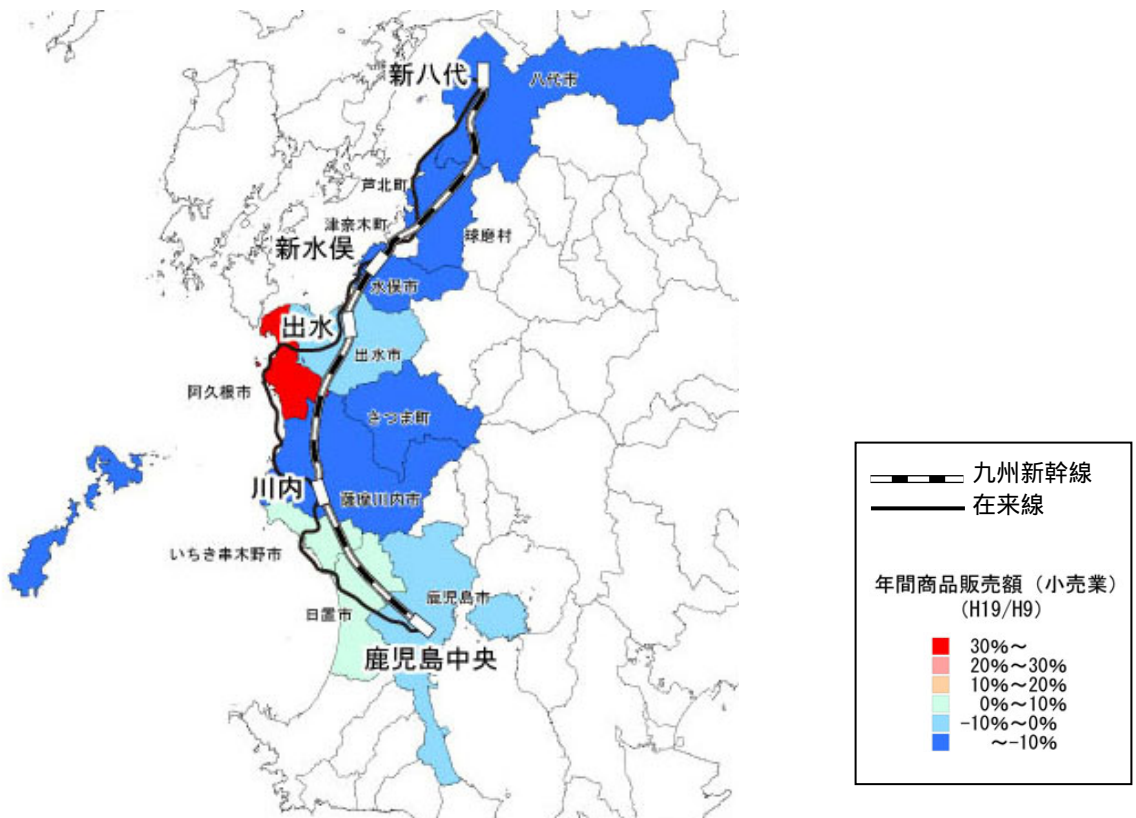
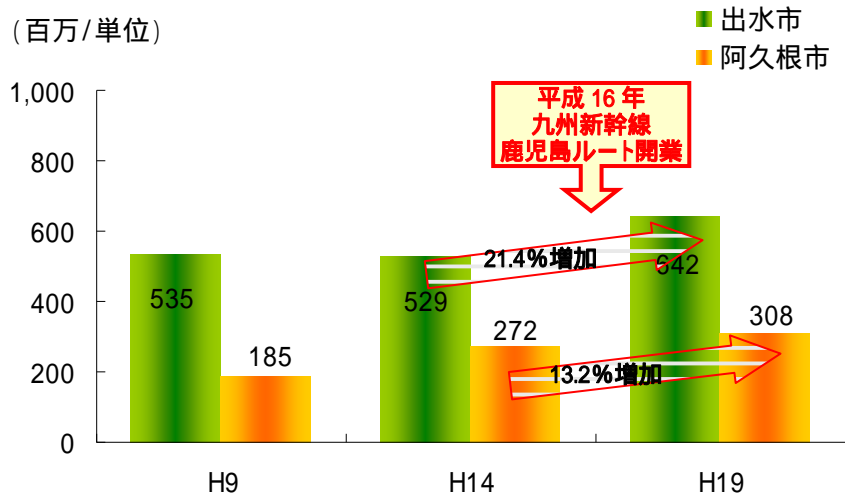


図 5-276 九州新幹線沿線都市における年間商品販売額（小売業）の変化



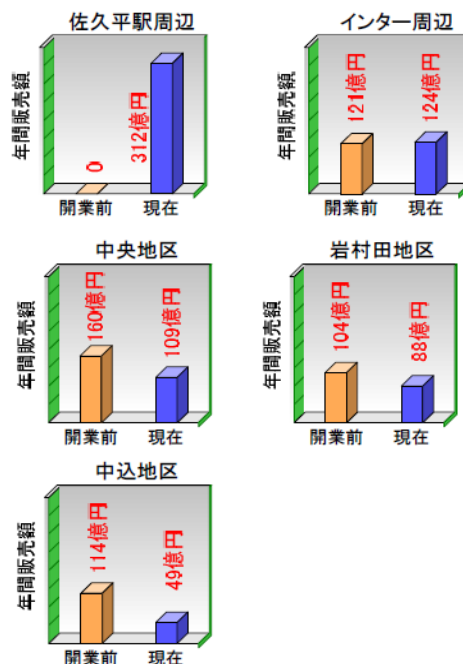
【出典】商業統計

図 5-277 出水市及び阿久根市の年間商品販売額（小売業）

地域経済への波及効果は限定的

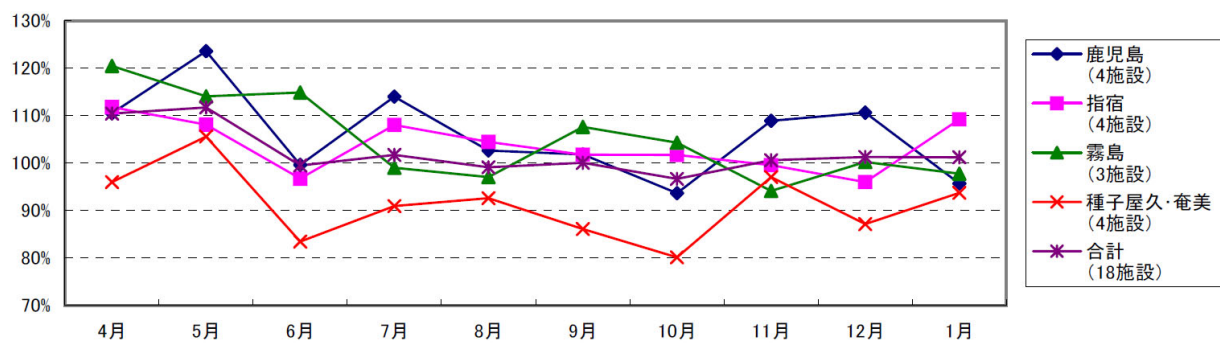
長野新幹線停車駅である佐久平駅を有する佐久市の地区別商業販売額の状況を見ると、新幹線駅周辺で売上が増加する一方、旧商店街の販売額が大幅に減少している。佐久平駅周辺の年間販売額が、それ以外の商業地区の年間販売額の減少分を上回っているものの、新幹線開業がもたらす地域経済への好影響は限定的であるといえる。

また、九州新幹線においても、鹿児島市を始め、指宿や霧島等の主要観光地など、一部の地域や都市にのみ宿泊客の増加が見られる。



【出典】北陸新幹線の経済効果、平成21年2月、高岡商工会議所青年部

図 5-278 佐久市内の地区別年間商品販売額の推移



【出典】鹿児島県交通政策課「九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道開業影響調査報告書」(平成17年3月)

図 5-279 鹿児島県における宿泊客数前年比推移 (平成 17 年)